

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 追分小学校 ) 学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校運営の基本方針について説明を受け、本校の強みと弱みや実情を把握・理解し、目指す子供像をイメージできた。熟議の中で育てたい力を共有することができ、学校だけでなく、家庭・地域も一緒になって子供たちを育てていくことが大切だと分かった。
- ・説明は概ね理解できた。基本方針の説明のため難しさがあることは十分承知しているが、具体例を入れた説明にすると、より一層委員の理解が深まり、以後の活動に効果的に作用すると考える。
- ・今年度はスタートしたばかりであり、各委員が感じたことを発言する意見交換の場感じた。十分な熟議ができたとは言い難いので、次年度は、基本方針の1つか2つを取り上げ、それに対する熟議をしていきたい。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・地域の方と子供たちとの協働の教育活動を参観したり、学校支援コーディネーターの報告を聞いたりして、具体的な成果を知ることができた。コロナ禍で地域行事が3年間ほとんど行われず、地域の人との関わりが少ない現状のため、今後の活動を深めることが大切である。
- ・授業参観の機会をもつことは、重要で効果的である。各委員の発言は、参観の印象を踏まえ、現状をより好ましい方向へもっていくためのプラス思考の発言であると感じた。ゆえに今後も授業参観の時間を設け、こうした具体に基づいた意見交換の場となるようにしていきたい。具体を離れた協議は無意味である。委員が学校側の説明との調和・一致点や、ずれを感じるからこそ協議の質を高めていくことに結び付くと考える。
- ・学校運営に資する活動は理解したつもりでいるが、地域活動とどのようにつなげればよいか、保護者の考え方などを十分に聞いて取り組んでいくことが重要だ。保護者の意見を十分に取り入れて熟議することが、今後も重要であると考えます。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・会議に参加した各委員からは建設的な意見が出てきたように感じている。積極的な発言から、各委員の意欲を感じた。これらのすべての意見に対してとは言わないが、学校側の解釈や、それに基づいた具体的な行動についての説明の機会も設けていただくと、よりいっそう相互理解が深まるのではないかと感じている。学校と地域、家庭が一層同じ目標を目指していくことが大切であると考えます。
- ・今年度は、学校運営について理解し、学校教育の現状について意見を出し合うなど、地域学校協働活動の意味を理解している途上にある。来年度は、具体的に何ができるのか、どのように発信していくとよいかについて話し合い、成果につなげていきたい。
- ・予め、次回熟議するテーマを決め、各委員が意見を持ち寄り、全員が意見を述べ、それに対して熟議し、方向性を決めていくようにしていきたい。